

めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより 令和2年7月発行

安藤奨杜（ショート）です！私がかぐめよし少年自然の家の所員になってから早くも3ヶ月が経過しました。昨今の新型コロナウイルスの影響によってご利用にご不便をおかけしています。しかし事務所にいる時間は短く、所内の整備やプログラムで使うフィールドの点検など、常に何かできることを見つけては全員で作業を行っています。私にとってはすべてが初めて経験することばかりで、とても刺激的な毎日です！

日々、自然の家へと続く一面緑の山道を通勤するうちに、雄大なかぐめよしの自然が大好きになりました。特に自然の家の周りを彩るさまざまな植物は感動ものです！（名前は只今猛勉強中ですが…）時間や季節が進むにつれて色・姿・形を変える植物たちを見ていると、なぜだか私の時間の流れもはやくなったように思います。

また、耐震・外壁改修工事に次いで、内壁も新しく塗り替えました。クリーム色の壁に色鮮やかな緑色の天井がとても映えています。そしてロビーには耐震工事が始まる際に取り外して以来、長らく眠っていた水槽を再び設置しました。水槽の中では紫川に住む生き物たちが元気に暮らしています。

誰も経験したことが無い状況の中ではありますが、私たちも前に進んでいます。館内の入念な消毒、主催事業の日程短縮…といったようにできる限りの体制を整えながら、少しずつご利用の皆様の受け入れを再開しております。1日でも早くこの事態が収束し、かぐめよし少年自然の家に子どもたちの笑い声が満ちることを願っています。

かぐめよしの大水槽

食堂の入り口に置いてある大水槽。じつは水の管理、レイアウトから水草の育成まで、すべて平野さんという警備員さんがコツコツと整備してくれているものです。

魚やエビたちが住みやすいように水草の位置を決めて1つ1つ丁寧に植えていきます。



入れていく生き物にも順番があり、今はまだ、ミナミヌマエビとスジエビ、ヨシノボリしかいませんが、これから自然の家周辺に住む魚たちが徐々に増えていく予定です。

かぐめよしにお越しの際は、ぜひ水槽ものぞいて見て下さい！！



主催事業報告



かぐめよしふるさと交流



約3ヶ月ぶりの主催事業となった「かぐめふるさと交流」。紫川の最上流部で思いっきり遊びました！水がとても冷たく、気持ちよかったですね。珍しい生き物も見られてラッキーでした！！

昼は炊き込みご飯と一足早いそうめん。孟宗竹を使った器作りにも挑戦しました♪

ご飯の後は、かぐめよしの心地よい風を受けながらサイクリングに出発～！道中、たくさんの植物に出会うことができましたね！！

RACリーダー講座

川を使った自然体験活動指導者の養成を目指す「RAC」。今回は6名がこの養成会に参加しました。



川の仕組みや危険箇所について講義だけではなく、実際に紫川の中に入って学びました。オールを使った「リバートレッキング」、川の流れに身を任せた「水圧体験」などを通して、川の楽しさ・美しさだけではなく、瀬の流れの速さや過酷さも体感してもらいました。

かぐめよし自然少年団②

約半年ぶりに少年団が日帰りで開催しました。午前は、七夕も近いということで、みんなで折り紙を使っていろんな七夕飾りを作ったり、短冊に各自思い思いのお願い事を書いて飾り付けを行いました。お願い事、叶うといいですね～。



午後は、紫川の最上流部で川遊びを行いました。曇っていたこともあり、水温が少し低かったですが、みんなの全力で生き物を採ったりして楽しんでました！



*4月4日(土) ボランティア研修会①、4月18(土)～19(日) かぐめよし自然少年団①、5月5日(日) 春の福智山登山、6月6(土)～7(日) 紫川まるごと博物館は新型コロナウイルス蔓延予防の為、中止となりました。

頂吉図鑑 ～第21回～

藪萱草(ヤブカンゾウ)



梅雨の最中に咲く花はと見渡してみると、ハッとするほど明るいオレンジの花が目につきました。今回紹介するのはヤブカンゾウ。かぐめよしだけでなく、ふもとの田の畔や川原にも鮮やかに咲いています。

花は八重咲きであること、大きいことでノカンゾウと区別できます。これらのつぼみを茹でてから天日干したものは金針菜(キンシンサイ)という生薬になります。中華料理の食材としても使われるので、口にした方も多いのではないのでしょうか。

よく混同されるのが甘草(カンゾウ)です。こちらはマメ科の植物で萱草(カンゾウ)はユリ科で、全く別の種類です。甘草は根や茎を乾燥させ生薬として有名ですが、そのエキ스는甘味料として多くの食品に使われています。その甘さは砂糖の何百倍だとか・・・

甘くない方の萱草ですが、春先に出てくる新芽は 甘い! 生でもいけるし、さっと茹でるとほんのり甘く、サラダにもいいし、又タにすると最高です。山菜として、かなり美味しい部類にはいるのではないのでしょうか。

ヤブカンゾウは、昔中国から入って来た植物で別名「忘れ草」として知られています。「この葉を食すと憂いを忘れることができる」という言い伝えとともに日本にやってきたのでしょうか。万葉の時代から、歌に沢山詠まれています。これは平安時代の歌ですが

忘れ草たねとらましを あふことのいとかくかたきものと知りせば 古今和歌集

あなたに逢うことがこんなに難しいのなら、忘れ草の種をとっておけばよかった・・・というような意味の恋の歌ですが、実はヤブカンゾウはヒガンバナと同じく3倍体で種をつけません。この歌に詠まれたのはノカンゾウなのか、種をつけないと知っていて(本当はあなたのことを忘れたくないから)詠んだのかなどと深読みしてしまいます。

万葉の時代から親しまれてきた萱草!

是非、鑑賞? 賞味? してみませんか。



主催事業のお知らせ



8月～10月

	事業名	時期	対象者・人数
8月	だれでもカヌー	8月23日(日)	誰でも参加可。青少年や特に障がいのある子どもと家族
9月	かぐめよし自然少年団③	9月5日(土)～9月6日(日)	かぐめよし自然少年団に所属する団員
	家族でキャンプだホイ!	9月19日(土)～9月20日(日)	7家族
10月	第1回はじめての陶芸教室	10月3日(土)～10月4日(日)	小・中学生とその保護者 20名
	市民センター職員等研修会	10月6日(火)	市民センター職員
	家族でキャンプ&アウトドアご飯	10月10日(土)～11日(日)	小・中学生とその保護者 20名
	秋の福智山登山	10月18日(日)	小・中学生とその保護者 30名

※7月11日(土)～12日(日)の水環境体感キャンプ事前研修会及び、8月3日(日)～6日(木)水環境体感キャンプ本番は、小中学校の夏休み短縮に伴い中止となりました。

※今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、事業の縮小・中止することがございます。

主催事業の募集は全て市政だよりに掲載します。
応募は市政だよりをご覧ください。



北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所：〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話：(093) 451-3111 FAX：(093) 451-3133